

「読み解く力」について

□ 現状と課題

1 人生100年を見据える

- ・人生100年を豊かに過ごすため、生きる力、生涯学び続けられる力を身に付ける必要がある。
そのためには、確かな学力を身に付ける必要がある。
- ・滋賀県の子どもは「目的に応じて文章を読み内容を整理して書く」、「必要な情報を選択し的確に処理する」といった読み解く力に関連する問題の正答率が低い。
- ・問題を正確に理解できていないことや、学んだことと関連づけて考察できず、学んだ知識が生かせていないことに課題がある。
- ・学齢期にこうした力を育み、生涯にわたってよりよく課題を解決し、生きる力につなげていく必要がある。

2 「共に生きる」滋賀の教育

- ・人生100年時代を生き抜くために、多様な他者と一緒に生きることが求められる。
- ・しかし、地域とのつながりの希薄化や家庭環境の多様化から、対話や協働の機会が減っている。
- ・「共に生きる」力を身に付けるうえで、相手の言葉、しぐさ等から相手の思いを感じ取ることなどによりコミュニケーション能力を高めることが求められる。
- ・また、主体的・対話的で深い学びの視点から、他者の考えを理解したり相手にふさわしい表現をしたりするためにも、相手の言葉等から思いを感じ取る能力は不可欠である。

□ 読み解く力のイメージ

「読み解く力」を“必要な情報を確かに取り出す力”“情報を比較し、関連付けて整理する力”“自分なりに解決し、知識を再構築する力”の3つの力で構成されているものとし、県全体でその育成に取り組む。

